

2022年10月14日

日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

1. 概観

愛媛県の景気は、緩やかに持ち直している。

すなわち、個人消費は、全体としては緩やかに持ち直している。住宅投資は、弱めの動きがみられる。設備投資は、幾分増加している。公共投資は、高水準ながら、弱めの動きがみられる。こうした中、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。この間、企業の業況感（業況判断）は、改善した。

2. 各論

(1) 需要項目別動向

公共投資は、高水準ながら、弱めの動きがみられる。

輸出は、増加している。

設備投資は、幾分増加している。

個人消費は、全体としては緩やかに持ち直している。

業態・品目別の需要動向

大型小売店販売 (百貨店、スーパー、ホームセンター等)	緩やかに持ち直している。
コンビニエンスストア販売	持ち直している。
家電販売	持ち直しの動きがみられる。
乗用車販売	足踏み感がみられる。
宿泊・観光施設の入込み	持ち直している。

住宅投資は、弱めの動きがみられる。

(2) 生産

生産は、緩やかに持ち直している。

業種別の生産動向

織	維	持ち直している。
紙	・ パルプ	横ばい圏内の動きとなっている。
化	学	弱めの動きがみられる。
プラスチック製品		横ばい圏内の動きとなっている。
非鉄金属		持ち直している。
食料品		堅調に推移している。
はん用・生産用機械		増加している。
電気機械		幾分弱含んでいる。
輸送機械（造船）		持ち直しの動きがみられる。

(3) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

(4) 物価

松山市の消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

(5) 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

(6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。貸出約定平均金利は、前月比低下した。

以 上